



いわき平ロータリークラブ週報

創立 1953.6.18

承認 1953.6.29

<http://iwakitaira-rc.jp/>

■事務局／福島県いわき市平字白銀町 4-13 不二屋第二ビル2F

(0246) 25-3000

■例会場／いわきワシントンホテル椿山荘

(0246) 35-3000

■例会日／毎週木曜日 p.m.12:30 ~ 13:30

会長：鈴木 東雄 幹事：坂本 佳友 発行：会報・広報委員会

第 2941 例会 (20号) 2014 年 11 月 20 日(木) 曇

会員卓話 SPEECH

「海外駐在員を経験して」

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
いわき支社長 菊田 政寛 会員



2008年4月に駐在員としてフランスに赴きました。現地法人の損保ジャパン日本興亜ヨーロッパのフランス支店長として、勤務・出向しました。イタリア支店長も拝命して、2カ国を見ました。

フランスの人口は、日本の半分程度の約6,500万人で、国土面積は日本の1.5倍です。スペイン国境付近のピレネー山脈、イタリア・スイス国境のアルプス山脈がありますが、それ以外は平野が多くなっています。観光客は日本の八倍近くです。フランスは経済大国、農業大国ですが、観光が経済の約33%を占めています。観光で外貨を稼いでいるといえます。首都のパリは人口が225万人で、面積は山手線の内側ぐらいで、一戸建ての住宅はほとんどなく、マンションが中心です。周辺の通勤圏を含めた経済圏の人口は1,300万人で、東京と同じぐらいです。常駐していた事務所の日本人は、私と、フランス国籍を取った女性だけで、ほかは現地の人でした。イタリア支店は保険の発祥の地といわれるジェノバにあり、スタッフは2人でした。

当時は、フランスやイタリアに進出している日系企業だけの保険の手配を行っていました。現地の企業からの契約は引受が難しいという事情がありました。取扱は自動車保険を除く、ほとんど全ての保険でした。自動車保険をやらなかった理由は、損害率が高く、受けても赤字になるからです。

私が赴任していたころ、フランスに進出している日系企業は約600社ありました。最近では約450社に減っています。主な取引先は大手電機メーカーで、主に火災保険と賠償責任保険、運送保険でした。ヨーロッパ本社を構える企業は、ドイツやイギリスが中心で、金融機関はロンドンが主で、メーカーはドイツやオランダです。食品会社や化粧品会社はフランスに置く傾向があります。リスク調査で工場に出掛けますと、日本の企業の工場はきれいですが、向こうの工場は雑然としています。片付けるのが苦手なようです。

4年間、フランスにいましたが、フランス語をしゃべらないまま過ごし、英語で仕事をしていました。賠償事故などがありますが、スタッフや弁護士と会議を開きますが、専門的な言葉になると、英語では話せなくなりますので、後で英語のレポートをもらって、内

容を把握していました。

デジタルカメラをトラックでスペインに輸送する時に、国境付近でトラックの運転手がドライブインで休憩していたところ、拳銃を持った人物が「手を上げろ」と言って、トラックを奪われました。保険金を支払いましたが、犯人は見つかりませんでした。

労務については、現地社員は週35時間勤務、一日7時間で、時間外勤務はしないということでした。有給休暇は、ほぼ100%消化でした。病気で長期に離脱する場合も有給扱いとされていました。常に社員の1割ぐらいは、いないと思って仕事を進めなければなりませんでした。

生活については、パリは盗難などの軽犯罪が多いといわれ、東京の10倍ともいわれているようです。私は電車の中で、スマホで電話をかけていたところ、私の手からスマホを奪われました。車上荒らしは車の窓を割って社内から物を盗みます。交通渋滞の中で、高級車にバイクが近付き、ヘルメットで窓ガラスを壊し、助手席に乗っていた人の膝に乗せていたバッグを奪うということもあったと聞いています。

私の息子は日本人学校に通った後、現地校に入りました。当時、小学校四年生の息子に、現地のお世話役の人が「自分に利益がない人とは付き合わなくていい」といわれたそうです。小学校の授業でディスカッションを行っていました。彼らは小学校の頃から議論をしていますので、われわれが社会人になって、ヨーロッパの人と交渉するというのは難しいということが分かりました。フランス人の食事は質素です。また、高級ブランド品を持たないで、価値ある一点物、皮の手作りのような、いい物を使っています。

休日に店が開いていないなど、不便なところもありましたが、私にとっては得難い経験であり、その時の経験が今でも残っていると思います。

◆スマイルボックス委員会 (片平正夫副委員長)

♥鈴木東雄さん(菊田様卓話よろしくお願いします)
♥新妻純男さん(3カ月皆出席ありがとうございます)
♥阿部弘行さん(皆勤賞ありがとうございます) ♥吉田義尚さん(100%出席賞ありがとうございます) ♥松崎浩さん(3カ月皆勤賞ありがとうございます) ♥三瓶和秀さん(皆勤賞ありがとうございます。早退します) ♥八幡恭朗さん(皆勤賞ありがとうございます) ♥坂本佳友さん(3カ月出席賞ありがとうございます。菊田さん卓話よろしくお願いします) ♥関口武司さん(3カ月100%出席賞ありがとうございます) ♥佐々木芳弘さん(100%出席賞ありがとう) ♥伊藤盛敏さん(皆出席賞ありがとうございます) ♥小野寺順正さん(菊田さん卓話楽しみにしています) ♥片平正夫さん(菊田様、卓話宜しくをお願いします) ♥森雄治さん(菊田さん卓話よろしくお願いします) ♥松崎倫久さん(菊田さん卓話よろしく) ♥志賀弘昌さん(誕生祝有難うございます。菊田さん卓話よろしく) ♥菊田政寛さん(結婚祝ありがとうございます) ♥山辺野倉平さん(誕生祝有難うございます) 以上18件



2014~2015年度
国際ロータリーのテーマ

「ロータリーに輝きを」

LIGHT UP ROTARY

「出席はロータリアンの3大義務の1つです」

インターシティミーティング開催

2014-2015 国際ロータリー第 2530 地区のいわき分区分区インターシティミーティング (IM) は 11 月 30 日、いわき市のパレスいわやで開かれました。

いわき平ロータリークラブをはじめ、分区分の合わせて 10 クラブから会員が参加しました。いわき平ロータリークラブからは鈴木東雄会長が参加しました。

国歌と「奉仕の理想」を斉唱し、諸橋義隆いわき分区分ガバナー補佐が主催者としてあいさつし、ホストクラブのいわき平東ロータリークラブの猪狩堅一会長が歓迎のあいさつを述べました。引き続き、第 2530 地区の野崎潔ガバナーがあいさつし、渡辺公直前パストガバナーが祝辞を述べました。

記念講演では、NPO 法人なこそ授産所理事長などを務める高村トミ子さんが「35 年 地域の皆様にありがとう」と題してこれまでの活動を振り返りながら、奉仕の大切さを強調しました。また、イギリス・ロンドンのチジック&ブレントフォードロータリークラブの田中ソロウェイ明美さんが、東日本大震災の震災孤児を支援する団体「エイドフォー・ジャパン」の活動状況などを説明しました。

懇親会も開かれ、出席者は歓談しながら、ロータリークラブの活動の在り方を語り合いました。



野崎潔ガバナーの
あいさつ



諸橋義隆いわき分区分
ガバナー補佐のあいさつ

トータルな重要目標を達成するには、一つの委員会が 5 年程度のスパンで予測して、計画する必要があるのではないかと趣旨です。まだ検討の余地がありますので、委員会を発足するような方向を考え、皆様の意見を伺いたいと思います。

◆司会：坂本幹事

〔点鐘・ロータリーソング（我らの生業）・
四つのテスト（松崎倫久会員）〕



松崎倫久会員

★結婚祝



志賀弘昌さん
(11月27日)



菊田政寛さん
(11月29日)

★誕生祝



山野辺倉平さん
(11月23日)

ハッピーバースデーソング斉唱

◆幹事報告

○小名浜ロータリークラブより会報が届きました。

委員会報告

◆出席委員会（志賀弘昌委員長）

例会日	基本会員数	出席者	メーキャップ数
11月20日	51名	28名	—

◆ロータリー財団委員会（森雄治委員長）

森雄治さん、松崎倫久さん。

以上 2 件

◆米山記念奨学会委員会（山野辺倉平委員長）

森雄治さん、吉田仁平さん、関口武司さん。以上、3 件

◆社会奉仕委員会（阿部弘行委員長）

昨年、平地区に震災支援に訪れた第 2840 地区の群馬県の太田ロータリークラブから、11 月 15 日に会長と幹事が平にいらっしゃいました。昨年は豊間地区の小中学生に図書券を贈りましたが、来年も 2840 地区と太田ロータリークラブが共同で支援するための調査でした。平地区の公営住宅の区長と支援内容を協議したということです。支援の際には皆様のご協力をお願いします。

★本日の例会案内 12月4日(木)PM12:30～
年次総会

お食事メニュー＝銀鱈の煮付け

★次回の例会案内 12月11日(木)PM12:30～
会員卓話 児玉武彦会員

お食事メニュー＝牛カツレツ トマトソース

◆会長挨拶ならびに報告



先ほど、かなり強い地震がありました。大丈夫でたでしょうか。

11 月 16 日に郡山市で第 2530 地区の会議がありました。高速道路の周囲の溪谷を見て、秋が深まり、終わりがなと感じました。郡山に近付きますと、山に薄らと雪がかかっていた。さて、会議では、2016 年に 3 年に一度、R I の規程審議会が開かれるに当たって、地区としての提案を話し合いました。ローターアクトの年齢制限は現在、30 歳ですが、35 歳まで引き上げないと、参加が難しいということです。福島中央ロータリークラブからの提案でした。震災後の福島の活性化を見せるために、地区の意見として出すという趣旨でした。満場一致で提案することとなりました。日本全体で検討し、R I に提案するようになると思います。もう一つは、ロータリークラブの委員会の一つに、戦略計画委員会を設置してほしい、との話がありました。県内のクラブには、戦略計画委員会を設置している所がかなりあるそうです。設置の方針や方向、設置しているクラブの報告などを聞きました。どこのクラブでも活性化や会員増強が大きなテーマですが、会長や組織が一年交代で継続性がないということで、クラブの